

Special Message

スペシャルメッセージ

大好きな大阪の皆さんへ。
私とおしゃべりウォーキングを
楽しみましょう!!

スポーツジャーナリスト
大阪芸術大学教授

増田 明美さん
ますだ あけみ

私にとって大阪は、ひとことでは言い表せないほど感慨深いまちです。1984年8月に開催されたロス五輪の切符を手に入れたのが、同年1月の大阪国際女子マラソン。いったん現役を退いた後、復活をかけて走ったのも、またラストランの舞台となったのも、やはり大阪の大会でした。人情味あふれる温かい声援も忘れられません。競技場の出口付近では、スタンドから「ゼったい帰って来いよ」の有り難いひとこと。後方集団を走っているときには「なにやってんねん」「あほやなあ」など、叱ってくれるような応援も。どれもこれも選手のことを本気で思ってくれている言葉ばかり。ですから今回、皆さんと身近にふれあいながら歩く機会に恵まれたことをとても嬉しく思っています。

当日は大勢の方と水辺を歩き、歴史的建築物を訪ねながらいろいろなお話しをして、お互いに大阪のことをよく知る充実した時間にしたと思います。私たち大人があちこち指差しながらおしゃべりするのをすぐそばで子ども達が聞いて「なるほど、そうなのか」なんて思ってくればいいですね。歴史が動いた場所を実際に歩きながら、自分の目で見て理解するなんて、それこそ理想的な体験学習と言えるでしょう。

最近子ども達の体力低下が問題視されていますが、基礎体力を養うために、まずウォーキングから取り組ませるのもおすすめです。ちなみに運動を習慣化して体力向上を図った結果、「忘れ物が少なくなった」「宿題をきちんとやるようになった」「算数の平均点が2点上がった」などのデータもあると聞いています。

年齢も性別も関係なく、自分のペースでゴールをめざせるウォーキングは、本当に素晴らしいスポーツだと思います。また爽やかな風が吹くこの季節は、ウォーキングにはぴったりです。大会当日はぜひ、私と一緒に歴史と水の都ならではの風情を楽しみながら、のんびりゆったりと歩きましょう。

※増田明美さんは、「大阪ウォーク」10月10日(土)のみの参加です。

まちを歩くことは、まちを知る第一歩。
水と歴史の都を体感してください。

大阪市長

平松 邦夫さん
ひらまつ くにお

ウォーキングは手軽にできるし健康に良いというので、私も深く関心を持っていました。以前、天王寺動物園から自宅まで3時間かけて歩いて帰ったことがあるのですが、「まちを歩くこと自体がまちを知る第一歩になるんだなあ」と感心させられました。

大阪は水の都であると同時に、常に歴史の舞台となってきました。ウォーキングを通じてその史跡などを目の当たりにすることで、大阪への愛着はますます深まるでしょう。また、私のビジョンにある放置自転車問題、防犯問題、環境や防災などに関心を持っていただくきっかけになれば、とも考えています。

「大阪ウォーク」では昭和34年、迎賓館として建造された大阪市公館の中を通っていた、だくコースも用意しており、市民の方々ははじめ、ビジターの皆様にも大阪の魅力を知っていただくまたとない機会です。

開催中の「水都大阪2009」(10月12日(祝))の最後を飾るビッグイベントをぜひ皆さん一緒に楽しんでください。